

令和 5 年度
教育課程特例校における特別な教育課程
【実施状況報告】

箕面市立止々呂美中学校

1.概要

箕面市では平成 27 年 4 月から教育課程特例制度を活用し、箕面市立中学校の全学年において、「英語コミュニケーション科」を設定し、全ての学年で毎日英語に触れる取り組みを行っています。

市内の中学校では、年間 140 時間（週 4 時間）の外国語科（英語）に加えて、総合的な学習の時間から年間 30 時間削減し、「英語コミュニケーション科」の授業時数に充てています。英語コミュニケーション科を週に 1 時間程度設定することで、毎日英語に触れられる環境作りを行うことができます。特別の教育課程を実施することで、9 年間を通して子どもたちが毎日英語に触れられる環境作りを行っています。

2.学校関係者からの意見

- ・英語コミュニケーションの時間は、英語だけを話すことを徹底してほしい。（保護者）
- ・小学校の時に、スカイプを使用して、海外の人とコミュニケーションを取る機会があると良い。（保護者）
- ・子どもは英語は得意ではなく成績もよくないが、ALT が交代しても、毎回授業だけでなく、それ以外の時間でも英語を交えつつ、楽しく話してくれる。
- ・市内在住の留学生や外国にルーツのある家庭と交流をする機会をつくってほしい。
- ・遊びをもっと取り入れてほしい。

3.今後に向けて

- ・今後も、英語コミュニケーションに慣れ親しみ、スピーキング能力・リスニング能力を高めるために各校に 3 名以上配置されている ALT（英語指導助手）を中心に授業を展開していく。授業以外でも、生徒が ALT と英語でコミュニケーションをとる機会を増やし、自然と英語に親しみがもてるようにする。
- ・全国と比べて、英語が楽しいと感じている割合や、身に付いている英語力は高いが、今後もより多くの子どもが、英語に触れることが「楽しい！」と感じ、自主的に英語力が身に付けられるような取り組みを進める。